

# がん患者の就労を含めた 社会的諸問題

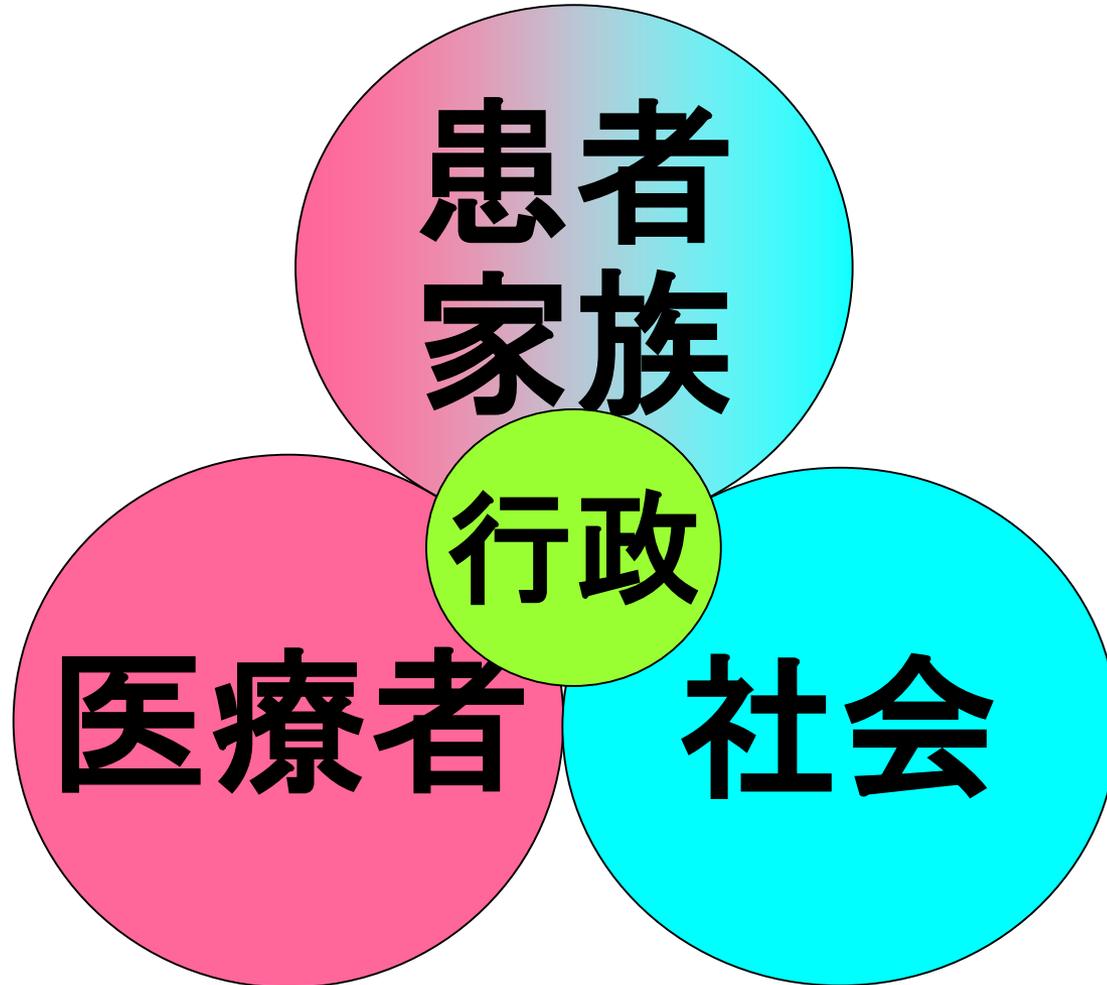
2016年7月6日(水)

第58回がん対策推進協議会

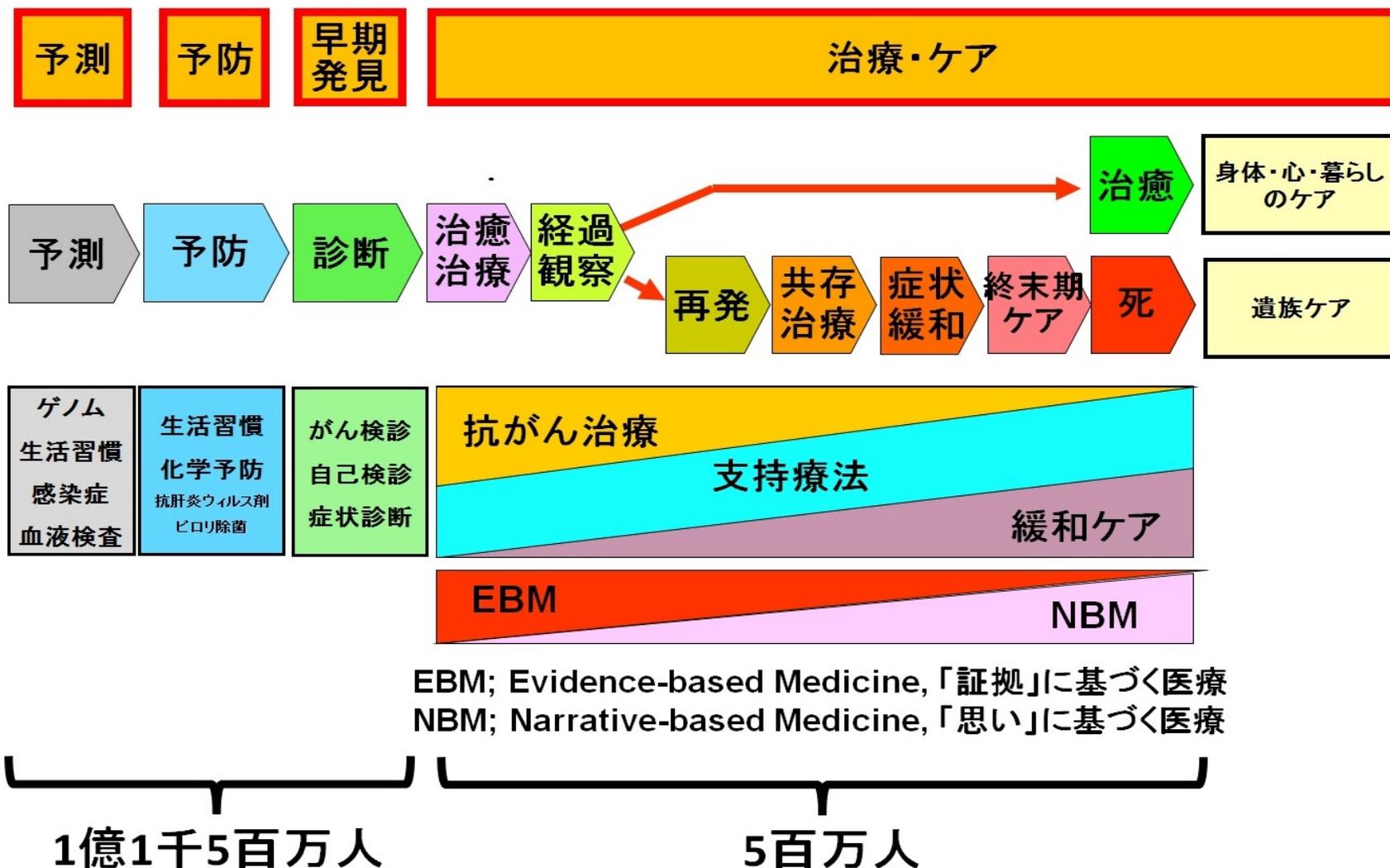
静岡がんセンター  
山口 建

# がんの社会学

(“医学は科学、医療は物語”)



# がん対策の全体像





# がん患者の悩みや負担に関する静岡分類

## 【4つの柱と15大分類】

### [診療の悩み]

- ①外来、②入退転院、③診断・治療
- ④緩和ケア、⑤告知・IC・SO
- ⑥医療連携、⑦在宅療養
- ⑧施設・設備、⑨⑩医療者との関係

### [身体の苦痛]

- ⑪症状・副作用・後遺症

### [心の苦悩]

- ⑫不安などの心の問題
- ⑬生き方・生き甲斐・価値観

### [暮らしの負担]

- ⑭就労・経済的負担
- ⑮家族・周囲との関係

# がん対策推進基本計画2012(概要)

## がん対策推進基本計画の概要

### 趣旨

がん対策推進基本計画（以下「基本計画」という）は、がんに基づき政府が策定するものであり、平成19年6月に策定されてきた。今回、前基本計画の策定から5年が経過し、新たな見直しを行い、新たに平成24年度から平成28年度までの5年間の計画的な推進を図るため、がん対策の推進に関する基本的な方針により「がん患者を含む国民が、がんを知り、がんと向き合い目指す。

### 第1 基本方針

- がん患者を含めた国民の視点に立ったがん対策の実施
- 重点的に取り組むべき課題を定めた総合的かつ計画的な
- 目標とその達成時期の考え方

### 第2 重点的に取り組むべき課題

1. 放射線療法、化学療法、手術療法の更なる充実とこれらによるがん医療を専門的に行う医療従事者を養成するとともに、チーム医療やこれらを組み合わせた集学的治療の質の向上を図る。
2. がんと診断された時からの緩和ケアの推進  
がん医療に携わる医療従事者への研修や緩和ケアチームなどから患者とその家族が、精神心理的苦痛に対する心のケアを含む緩和ケアの提供体制をより充実させる。
3. がん登録の推進  
がん登録はがんの種類毎の患者の数、治療内容、生存期間など重要なデータを得る仕組みであるが、未だ、諸外国と比べても検討も含めて、がん登録を円滑に推進するための体制整備を図る。
4. 働く世代や小児へのがん対策の充実  
我が国で死亡率が上昇している女性のがんへの対策、就労に障害の向上、小児がん対策等への取組を推進する。

### がん患者の抱える様々な痛み



## がん患者の抱える様々な痛み

### 身体的苦痛

身体的苦痛  
(体の痛み、倦怠感、不眠など)

### 社会的苦痛

社会的苦痛  
(経済的な問題、仕事、家庭の問題)

### 精神的苦痛

精神的苦痛  
(不安、いらだち、うつ状態など)

全人的苦痛  
(トータルペイン)

スピリチュアルな苦痛  
(死への恐怖、自責の念など)

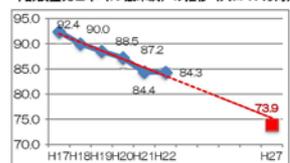
### スピリチュアルな苦痛

(D.C.ソンドースら、「がん終末期患者の苦痛」)

### 第3 全体目標 (平成19年度からの10年目標)

1. がんによる死亡者の減少  
(75歳未満の年齢調整死亡率の20%減少)
2. 全てのがん患者とその家族の苦痛の軽減と療養生活の質の維持向上
3. がんになっても安心して暮らせる社会の構築  
(裏面に続く)

年齢調整死亡率 (75歳未満) の推移 (人口10万対)



# 静岡がんセンター就労支援活動

**がん患者就労支援システム  
(静岡がんセ・沼津法人会)**

2011年4月～

紹介件数 16 件

就職件数 5 件

(2名:継続)

(3名:離職)

**長期療養者等就職  
支援モデル事業  
(拠点病院・ハローワーク協働)**

2013年6月～

相談件数 714 件

紹介件数 122 件

就職件数 55 件

# 静岡がんセンターの就労支援（多職種チーム）

診断後

治療中

復職

就労継続

患者

よろず相談

医療者

患者・家族支援センター

病状理解や心理的サポート

就労継続への助言

休職の必要性の検討

傷病手当金の申請案内

・役割の喪失感への支援

・職場との関係調整

・適切な情報提供  
・将来への不安軽減

・病状説明力への指導・助言

・他機関への紹介  
・復帰プログラムの提供

・治療の頻度、影響の確認

・職内容、通勤手段の確認

・復職不安を軽減する支援  
・就労意欲を高める支援

・職場環境の確認

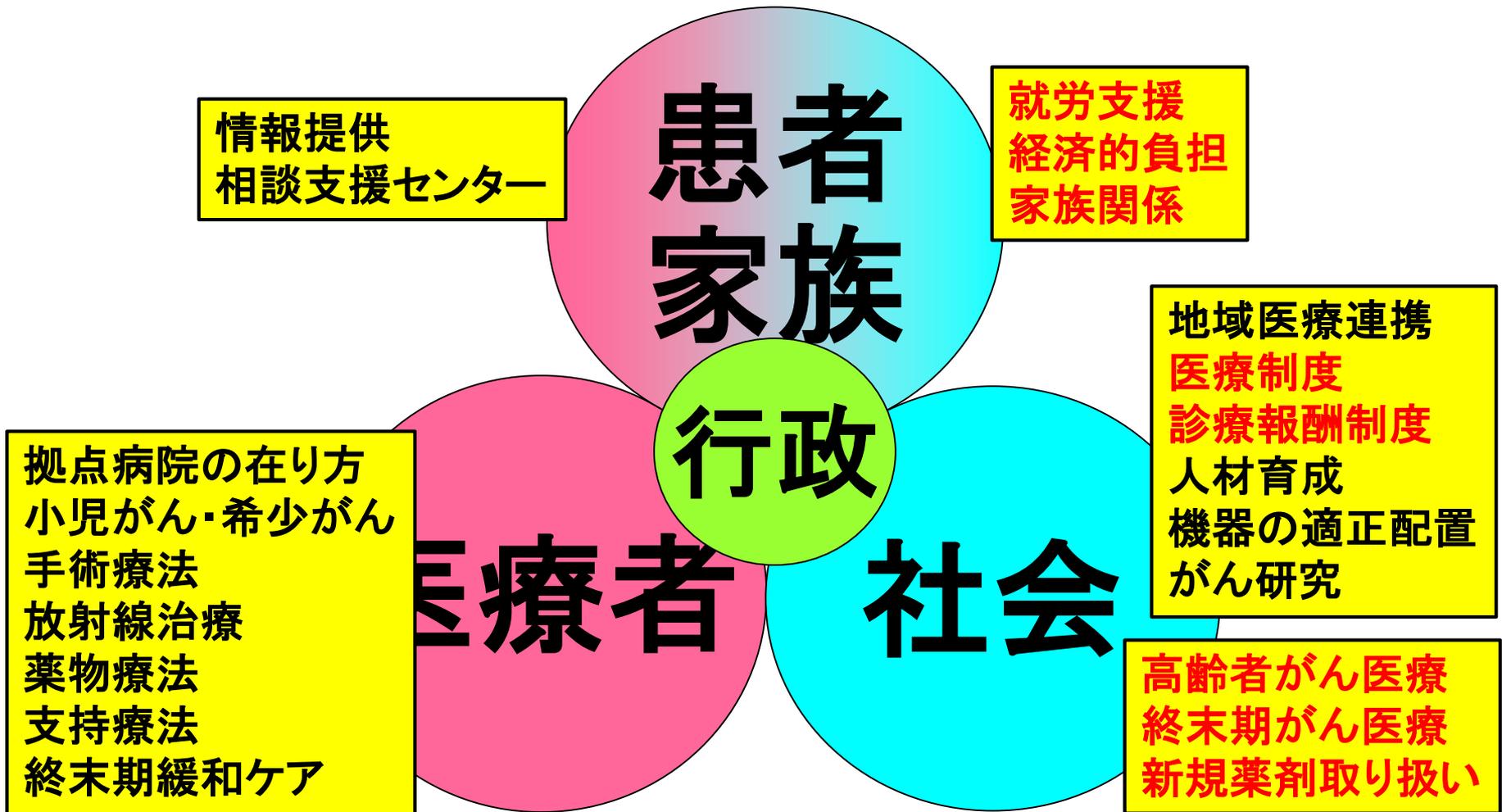
・就労意欲の維持支援  
・継続評価

・再発・転移時のサポート

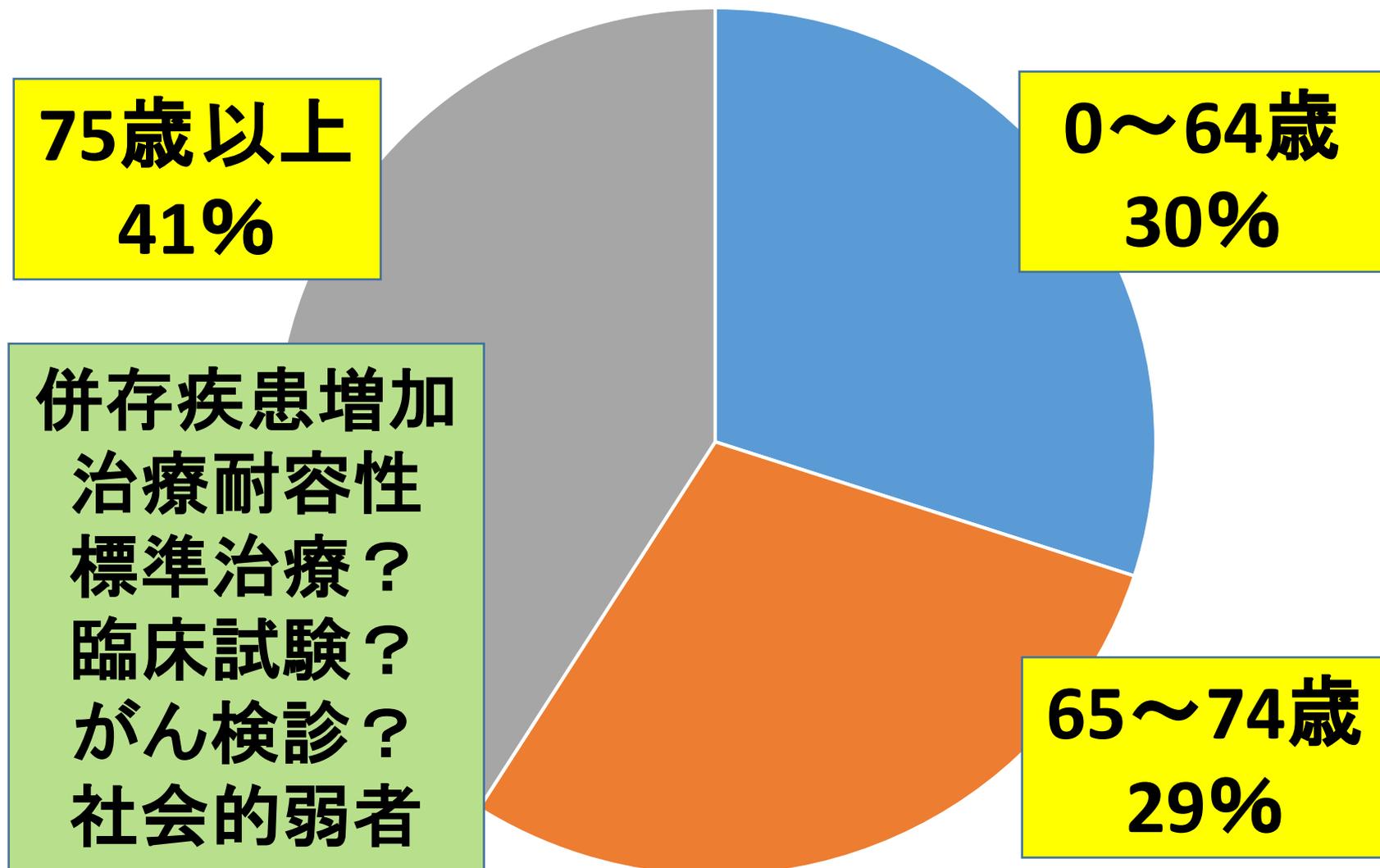
交流支援

離職防止・両立支援

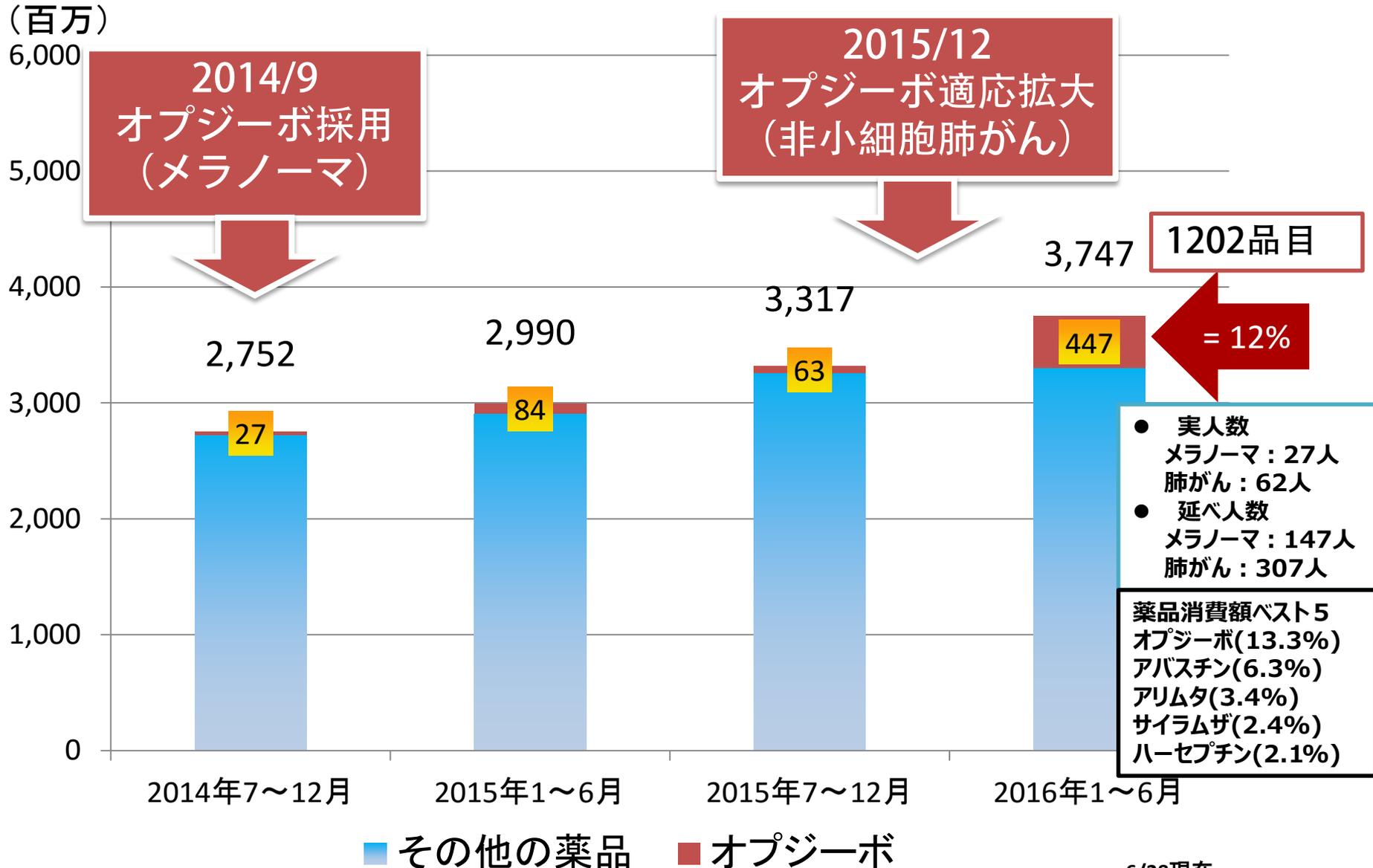
# がんの社会学



# 高齢者がん医療 - 罹患年齢(2010年)



# 静岡がんセンター 薬品消費額推移



# 免疫チェックポイント阻害剤の使用予測

## 非小細胞肺がん

- 進行・再発例の使用割合 70%
  - 約 4.1万人
  - 1年間継続可能例 50%
- ⇒ 7,900億円

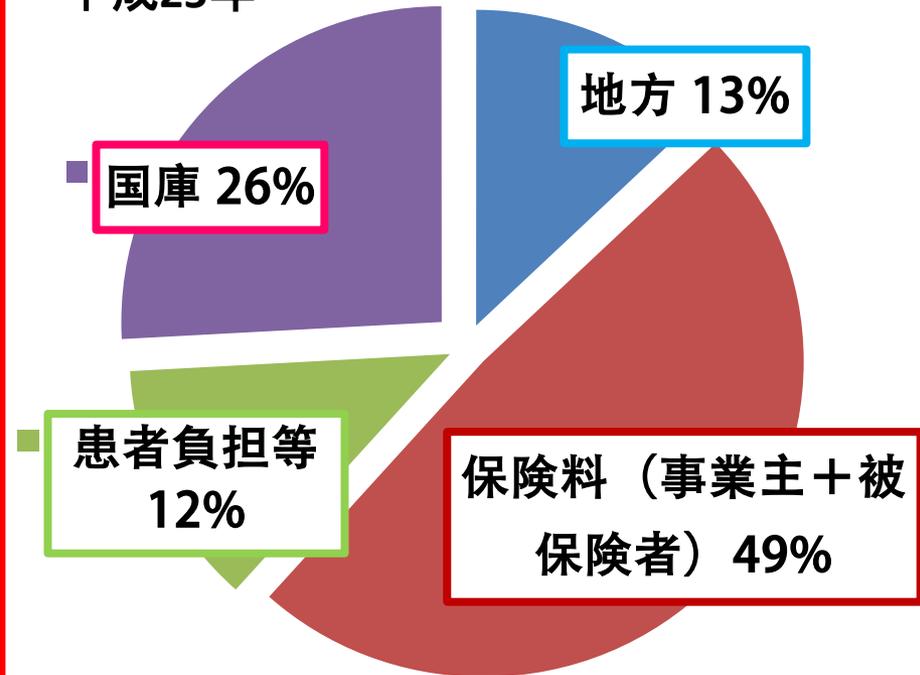
## 悪性黒色腫

- 進行・再発例の使用割合 50%
  - 約 3千人
  - 1年間継続可能例 60%
- ⇒ 680億円

予測＝約8,580億円/年

年間医療費(財源別) 約40兆円

平成25年



より厳格な適応基準  
有効性判定(バイオマーカー)